

令和4年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22007	事業名	公園施設長寿命化事業		評価分類	A1	
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他()					担当部署	
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		予算科目	会計	01:一般会計	
		基本施策	01:魅力的な都市空間の形成			款	08:土木費	
		施策の方向	03:安らぎのある都市の形成			項	04:都市計画費	
重点プロジェクト	01:「健都さぶり+」プロジェクト		目	02:公園管理費				
事業期間	H 29 年度 ~ R - 年度	主な根拠法令等		都市公園法				

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	市が管理する公園は、設置から年数が経過し、公園施設の老朽化が顕在化してきている。今後は、進展する老朽化に対し、公園施設長寿命化計画に基づき、予防保全型管理や事後保全型管理による適切な公園維持管理を計画的に進める必要がある。	都市公園	長寿命化計画の対象公園である3公園(亀山公園・西野公園・東野公園)において、老朽化している施設の機能保全を行い、公園利用者の安全対策を図る。	公園施設長寿命化計画に基づき、3公園の施設の老朽化に対する更新を計画的に進める。特に、健全度がC・D判定である遊戯施設については、幼児や児童の安全対策を確保するため、優先的に修繕、更新を進める。

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
③ 事業の実施状況 (P・D)	事業計画	○公園施設更新工事	○公園施設更新工事	○公園施設更新工事	○公園施設更新工事		
	活動実績 (計画通り実施できたか)	西野公園における藤棚の更新や複合遊具(インクルーシブ対応を含む)の更新工事が完了し施設の長寿命化が図られた。亀山公園のローラースライダーについては、遊具更新のインクルーシブ対応に伴い、関係団体との懇談会や市民アンケートを実施し意見集約を行ったが、意見集約に時間を要したことから、工事の実施には至らなかった。					
計画額	事業費	70,000千円	8,404千円	73,000千円	22,000千円	2,000千円	
		国・県支出金	35,000千円	4,202千円	29,000千円	11,000千円	1,000千円
		地方債					
		その他					
決算額	事業費	35,000千円	4,202千円	44,000千円	11,000千円	1,000千円	
		国・県支出金		4,202千円			
		地方債					
		その他		4,202千円			
①期間内事業費(R4-7)		167,000千円	②期間外事業費(R8-)	-	①+②総事業費	-	

(令和4年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	6,023千円
当年度の最終予算額	70,000千円
次年度への繰越額	67,619千円

指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
④ 指標 (C)	公園施設更新数(累計)	活動	箇所	計画値	2	6	8	9
				実績値	1			
				計画値				
				実績値				

⑤ 成果 (C)	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
B	西野公園において、施設の更新を行うことで、公園施設の長寿命化が図れた。また、既存の複合遊具をインクルーシブ対応遊具に更新したことで、障害の有無に関わらず一緒に遊べる場を提供できた。
	まずまず成果を得た

事業の対象	事業の目的
都市公園	長寿命化計画の対象公園である3公園(亀山公園・西野公園・東野公園)において、老朽化している施設の機能保全を行い、公園利用者の安全対策を図る。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項
	インクルーシブ対応の遊具導入を含めた公園遊具の更新を行うためには、遊具単体ごとの更新を行うのではなく、当該公園の遊具を一体的に捉え、利用者のニーズに対応した遊具の配置変更を含めた遊具更新を検討する必要がある。

⑦ 事業の展開 (A)	方向性
	継続(現状維持) 現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容
	令和5年度で対応する(した)もの 亀山公園において、ローラースライダーや複合遊具を個別に更新するのではなく、インクルーシブ対応遊具の導入も含め、亀山公園のわんぱく広場を一体的に整備するため、公募型プロポーザルにより、利用者ニーズに十分に対応した遊具の更新を行う。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定	B			
事業展開	継続(現状維持)			

【履歴】

1次評価者	建設部 都市整備課 市街地整備GL 山里 淳一
最終評価者	建設部 都市整備課長 藤尾 春樹